

令和元年度 施策評価シート

1. 基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	消防本部
基本施策	3	暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策名称	2	消防体制の充実・強化		
	施策の方向性	●住民の安心安全なまちを守るために、消防団を地域防火の中核として重要な役割を果たすよう、防災力の充実・強化を図ります。 ●消防施設設備の計画的な整備を図り、消防・防災力の充実・強化を図ります。		

2. 施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	中期目標(R2)
1	消防団訓練活動回数	回	目標値		12	13	13	14	14
			実績値	12	18	16	18	16	
			達成状況		達成	達成	達成	達成	
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						
4			目標値						
			実績値						
			達成状況						

3. 評価と対応方針（部長評価）

・分析	（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等） 計画的な訓練活動を行った結果、目標値を達成しました。また、訓練の成果は、昨年8月に実施された広島県消防ポンプ操法競技大会において優良賞を受賞するなど顕著です。
・評価及び対応方針	令和2年度の第2分団詰所建築にあわせて、実放水可能な訓練施設も整備されることから、更なる訓練活動の充実が期待されます。
作成担当部長	消防長 脇本 哲也

【参考】施策の推進に要したコスト

(単位:千円)

区分		No.	事業名称	事業費
施策の成果を 押し上げる 事業	事務 事業 計画	1	消防団施設整備事業	3, 614
		2	消防自動車等購入事業	15, 950
		3	初期消火強化事業	521
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
施策の成果を 維持する事業	財政 計画	1	消防自動車維持管理事業	3, 480
		2	常備消防活動事業	4, 595
		3	常備消防施設維持管理事業	4, 090
		4	消防等航空機共同利用事業	3, 990
		5	消防団活動事業	12, 237
		6	消防団車両維持管理事業	441
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		14		
		15		
		16		
		17		
		18		
		19		
		20		
合計				48, 918

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	消防団施設整備事業	事業番号	332101
担当部署名	消防本部	総務課	
政策体系			
基本目標	3誰かが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

老朽化した消防団第2分団詰所を建て替えるため、実施設計を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 老朽化している第2分団詰所を令和2年度までに建築、移転するものとし、令和元年度に実施設計を行います。	○ 老朽化している第2分団詰所を令和2年度までに建築、移転するものとし、令和元年度に実施設計を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	整備率（第3分団詰所）	%	目標値	100.0	-	-	-	-
			実績値	40.3	100.0	-	-	
			達成状況	未達成	達成	-	-	
②	整備率（第2分団詰所）	%	目標値	-	-	-	7.4	100.0
			実績値	-	-	-	7.4	
			達成状況	-	-	-	達成	
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		消防団詰所整備が目的のため、整備率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,507	0	0	4,500	0	7
決算	3,614	0	0	3,614	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

令和元年度までの目標は、計画どおり達成、完了しました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き計画を推進し、令和2年度までに完了するよう、目標達成に努めます。

作成担当課長

総務課長 橋本 臣彦

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

目標どおり実施設計を終えることができました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き、建築工事を施工し、令和2年度内の完成に努めます。

作成担当部長

消防長 脇本 哲也

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	消防自動車等購入事業	事業番号	332102
担当部署名	消防本部	警防課	
政策体系			
基本目標	3誰かが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

老朽化した消防4号車（可搬ポンプ積載車）の更新を行い、消防体制の強化を図ります。
--

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 計画的な消防自動車等の更新を行い、消防体制の充実・強化を図ります。 令和元年度には可搬ポンプ積載車の更新を行います。	○ 可搬ポンプ積載車1台の更新を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の車両更新数 (累計)	台	目標値	2	2	4	6	6
			実績値	2	2	4	5	
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		計画的な更新を図るため、車両更新数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	16,379	0	0	12,200	0	4,179
決算	15,950	0	0	15,950	0	0

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

当初、令和元年度に計画していた広報調査車の更新については、令和2年度に予定しています。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

令和2年度に広報調査車の更新を行い、計画の達成に努めます。

作成担当課長

警防課長 木原 康太

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

可搬ポンプ積載車の更新を行うとともに、広報調査車については、次年度に更新するよう予算措置を行いました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き、消防体制の充実・強化に努めます。

作成担当部長

消防長 脇本 哲也

令和元年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	初期消火強化事業	事業番号	332103
担当部署名	消防本部	警防課	
政策体系			
基本目標	3誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

道路が狭い地域や消防車の到着に時間を要する地域に設置している初期消火用器具を軽量化し、有事の際に取扱いやすくすることを目的に更新を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 地域に扱いやすい初期消火用器具を備え、円滑な初期消火活動による火災被害の軽減を図るため、町内に111箇所設置されている初期消火用器具ボックスを7個更新します。 （収納品：消防用40ミリホース3本、筒先1、消火栓開閉器1、スタンドパイプ1、異径媒介金具1）	○ 初期消火器具ボックス7式の更新を行いました。 〈1式当たりの内容〉 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40mm×長さ20m） 筒先（アルミ製ノズル）1本 消火栓開閉器1本 スタンドパイプ1本 異径媒介金具1個

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	地域に扱いやすい初期消火器具の設置率（累計）	%	目標値	6.4	12.7	19.1	25.5	31.8
			実績値	6.4	12.7	19.1	25.5	
			達成状況	達成	達成	達成	達成	
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		取扱いやすいホースを設置することで火災の被害軽減を図ることが目的のため、設置率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	824	0	0	0	0	824
決算	521	0	0	0	0	521

6. 評価と対応方針（課長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

令和元年度までの目標は、計画どおり達成しました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き計画を推進し、目標達成に努めます。

作成担当課長

警防課長 木原 康太

7. 評価と対応方針（部長評価）

・ 分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

計画どおり初期消火用器具ボックス7式の更新を実施しました。

・ 評価

事業効果	高	事業改善	低	今後の方向性	事業継続
------	---	------	---	--------	------

・ 評価を踏まえた対応方針

引き続き、町内111箇所の初期消火器具を扱いやすい初期消火器具に更新し、地域防災力の強化を図ります。また、防火教室などにおいて、初期消火器具の取り扱いの指導も行っていきます。

作成担当部長

消防長 脇本 哲也